

テーマ

CBRNE災害等に対応する装備資機材への新技術の活用等

趣旨

CBRNE災害は、発生すると、ガス、放射線、病原体といった目に見えない脅威により災害実態の把握が難しく、また、放射線、病原菌による空気感染や有毒ガスの拡散などにより、救出活動の環境は極めて過酷となる。一方、AIやロボットをはじめとした昨今の技術の進化は著しく、CBRNE災害における新たな対応資機材の活用の可能性も高まっている。また、CBRNE災害への対応資機材でも、その他の災害等にも活用可能（デュアルユース）なものもあり、その他の災害等の対応資機材でも、CBRNE災害の対応の際、直接あるいは後方支援に役立つ。このため、本検討会では、新技術を活用したCBRNE対応資機材の活用等の可能性を検討するとともに、CBRNE災害以外の大規模災害等にも活用可能な資機材について、広く、新技術の活用の可能性を検討する。

検討の主眼

- CBRNE及び大規模災害に対処する国内外の最新資機材の調査及び効果的な活用方法の検討